



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 日本軽金属ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5703 URL <https://www.nikkeikinholdings.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 企画統括室 広報・IR担当 (氏名) 石川 千津 TEL 03-6810-7160
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	122,471	△0.6	1,971	△42.7	2,942	△29.0	1,181	△54.8
2023年3月期第1四半期	123,241	6.5	3,437	△53.8	4,142	△45.3	2,614	△45.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,477百万円 (△27.7%) 2023年3月期第1四半期 4,808百万円 (△16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	19.07	—
2023年3月期第1四半期	42.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	525,399	223,259	39.5
2023年3月期	526,201	220,758	39.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 207,748百万円 2023年3月期 205,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	10.00	50.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	10.00	—	40.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	250,000	△1.2	4,000	9.4	4,500	△13.6	2,000	△47.4	32.30
通期	550,000	6.4	17,000	125.5	16,000	80.6	7,500	4.1	121.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	61,993,750株	2023年3月期	61,993,750株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	71,527株	2023年3月期	69,643株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	61,923,051株	2023年3月期1Q	61,896,338株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、日本国内においても新型コロナウイルス感染対策に関する制限が大幅に緩和されたことにより経済活動の正常化が進んでいるものの、ウクライナ情勢の長期化や原燃料価格の高止まり、世界的な金融引締め動きや為替変動に加え中国の景況感など、今後の見通しについて不透明な状況にあります。

当社グループにおきましては、パネルシステム部門は好調に推移し、トラックシャーシ減産の影響で前年大きく落ち込んだトラック架装関連の回復が図れています。また国内の自動車生産は若干不安定ながらも回復してきていることがプラスに作用しました。一方で半導体関連需要の調整局面の継続、中国での押出製品など自動車向けの減速に加えて、アルミニウム地金市況を反映した販売価格下落の影響もあったことにより、売上高は前年同期を若干下回りました。採算面ではパネルシステム部門と箱、粉末製品、トラック架装事業は前年同期を上回ったものの、半導体製造装置向け厚板など半導体関連の需要低迷に加え、自動車関連の中国における販売減速の影響などにより、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回りました。

連結経営成績

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期累計期間	2023年3月期 第1四半期累計期間	比較増減 (△印減少)
売上高	122,471	123,241	△770 (△0.6%)
営業利益	1,971	3,437	△1,466 (△42.7%)
経常利益	2,942	4,142	△1,200 (△29.0%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,181	2,614	△1,433 (△54.8%)

セグメント別業績

(単位：百万円)

セグメント	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)
アルミナ・化成品、地金	37,846 (△942 △2.4%)	3,118 (△646 △17.2%)
板、押出製品	22,938 (△4,965 △17.8%)	△1,279 (△2,458 -)
加工製品、関連事業	36,374 (+4,133 +12.8%)	△371 (+904 -)
箱、粉末製品	25,313 (+1,004 +4.1%)	1,522 (+753 +97.9%)
消去または全社	- (- -)	△1,019 (△19 -)
合計	122,471 (△770 △0.6%)	1,971 (△1,466 △42.7%)

各セグメント別の概況は次のとおりです。

[アルミナ・化成品、地金]

アルミナ・化成品部門におきましては、主力の水酸化アルミニウムおよびアルミナでは耐火物・セラミックス向けを中心に、化学品でも有機塩化物を中心に販売数量は減少しましたが、販売価格の改定効果により、売上高は前年同期並みとなりました。採算面では原燃料価格高騰の影響もあり、前年同期と比べ若干減益となりました。

地金部門におきましては、主力の自動車向け二次合金分野において、国内自動車生産の回復基調による販売増加や、米国やタイでの販売が堅調だったことで前年同期を上回る販売量となりましたが、アルミニウム地金市況を反映して販売価格が下落した影響などで売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期と比べ減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のアルミナ・化成品、地金セグメントの売上高は前年同期の387億88百万円に比べ9億42百万円(2.4%)減の378億46百万円となりました。営業利益は前年同期の37億64百万円から6億46百万円(17.2%)減の31億18百万円となりました。

[板、押出製品]

板製品部門におきましては、半導体製造装置向け厚板が前年第2四半期より続いている需要調整局面により前年同期の販売を下回っており、またアルミニウム地金市況を反映した販売価格の下落の影響もあり、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

押出製品部門におきましては、トラック架装向けや国内の自動車関連向けは回復途上にあるものの、半導体製造装置向けや中国での自動車関連向けの販売減などにより、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の板、押出製品セグメントの売上高は前年同期の279億3百万円に比べ49億65百万円(17.8%)減の229億38百万円となりました。営業損益は前年同期の11億79百万円の利益から24億58百万円悪化の12億79百万円の損失となりました。

[加工製品、関連事業]

輸送関連部門におきましては、トラック架装事業は、サプライチェーン正常化に伴いトラックシャシー供給が概ね安定し生産の回復が図れており、売上高は前年同期より増加しました。採算面では材料価格上昇が一段落したことに加え、販売価格改定効果が現れ始めていることから、営業損益は前年同期より改善しました。

パネルシステム部門におきましては、冷凍・冷蔵分野では、食品工場向けや低温流通倉庫向けを中心とした大型物件が増加し、クリーンルーム分野では、半導体関連の材料・部品・製造装置メーカー向けクリーンルームの旺盛な需要に支えられ販売が増加していることから、部門全体の売上高、営業利益はともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の加工製品、関連事業セグメントの売上高は前年同期の322億41百万円に比べ41億33百万円(12.8%)増の363億74百万円となりました。営業損益は、前年同期の12億75百万円の損失から9億4百万円改善の3億71百万円の損失となりました。

[箔、粉末製品]

箔部門におきましては、リチウムイオン電池外装用箔は自動車生産の回復により前年同期と比べて販売が増加したことに加え、医薬包材向け加工箔も回復傾向にあることから、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

パウダー・ペースト部門におきましては、粉末製品は放熱用途の電子材アルミパウダーや窒化アルミが半導体関連の需要調整局面を受けて前年同期と比べ販売が減少しました。ペースト製品は主力の自動車塗料向けの販売が国内向けは緩やかに回復し、海外向けは前年同期を上回る販売であったことから、部門全体の売上高はほぼ前年同期並みとなりました。

日用品部門におきましては、コンシューマー向けではハウスケア用品の堅調な販売とアルミホイルの販売価格改定効果により、パッケージ用品向けでは冷凍食品向けなどでの好調な販売により、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の箔、粉末製品セグメントの売上高は前年同期の243億9百万円に比べ10億4百万円(4.1%)増の253億13百万円となりました。採算面では、各部門での販売増加に加え、前期からの原燃料や資材価格高騰に対する販売価格改定の効果発現などにより、営業利益は前年同期の7億69百万円から7億53百万円(97.9%)増の15億22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の回収が進んだことによる受取手形、売掛金及び契約資産の減少などにより、前連結会計年度末と比べて8億2百万円減の5,253億99百万円となりました。負債は、仕入債務等の支払いによる支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末と比べて33億3百万円減の3,021億40百万円となりました。純資産は、円安の進行による為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末と比べて25億1百万円増の2,232億59百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.0%から39.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました第2四半期累計期間の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A) 2023年5月15日発表	百万円 250,000	百万円 2,500	百万円 2,500	百万円 1,000	円 銭 16.15
今回修正予想(B) 2023年7月31日発表	250,000	4,000	4,500	2,000	32.30
増減額(B-A)	—	+1,500	+2,000	+1,000	—
増減率(%)	—	+60.0	+80.0	+100.0	—
(ご参考)前年第2四半期 実績(2023年3月期)	253,094	3,657	5,207	3,804	61.44

第1四半期に好調であったパネルシステム部門や前年同期の業績を上回った箔、粉末製品については第2四半期以降も同様に推移するとみており、トラック架装事業は業績改善の継続を見込んでおります。また自動車関連は中国での需要見通しが不透明ながらも国内自動車生産は回復基調にあることから、第2四半期累計期間の連結業績は営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回(2023年5月15日)発表予想を上回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、半導体関連や中国における自動車関連の需要見通しの不透明感なども鑑み、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想を据え置いております。

なお、2024年3月期の配当予想(1株当たり中間配当10円、期末配当40円)の変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,305	33,106
受取手形、売掛金及び契約資産	150,709	142,758
商品及び製品	44,576	44,463
仕掛品	20,715	23,170
原材料及び貯蔵品	29,332	29,775
その他	16,062	19,330
貸倒引当金	△366	△430
流動資産合計	292,333	292,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,839	59,356
機械装置及び運搬具（純額）	47,488	47,910
工具、器具及び備品（純額）	5,873	5,869
土地	55,046	55,145
建設仮勘定	7,003	6,207
有形固定資産合計	174,249	174,487
無形固定資産		
のれん	1,771	1,727
その他	10,392	10,219
無形固定資産合計	12,163	11,946
投資その他の資産		
その他	48,009	47,340
貸倒引当金	△553	△546
投資その他の資産合計	47,456	46,794
固定資産合計	233,868	233,227
資産合計	526,201	525,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,539	67,421
短期借入金	93,157	92,916
未払法人税等	1,025	722
リコール関連引当金	168	152
その他	33,590	33,149
流動負債合計	196,479	194,360
固定負債		
社債	801	870
長期借入金	69,612	68,672
退職給付に係る負債	18,571	18,772
堆砂対策引当金	12,693	12,168
その他	7,287	7,298
固定負債合計	108,964	107,780
負債合計	305,443	302,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,525	46,525
資本剰余金	19,087	19,007
利益剰余金	130,938	131,500
自己株式	△95	△98
株主資本合計	196,455	196,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,535	4,413
繰延ヘッジ損益	△39	△22
土地再評価差額金	145	145
為替換算調整勘定	5,826	6,784
退職給付に係る調整累計額	△447	△506
その他の包括利益累計額合計	9,020	10,814
非支配株主持分	15,283	15,511
純資産合計	220,758	223,259
負債純資産合計	526,201	525,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	123,241	122,471
売上原価	102,698	103,520
売上総利益	20,543	18,951
販売費及び一般管理費	17,106	16,980
営業利益	3,437	1,971
営業外収益		
為替差益	757	698
その他	1,212	1,247
営業外収益合計	1,969	1,945
営業外費用		
支払利息	306	330
その他	958	644
営業外費用合計	1,264	974
経常利益	4,142	2,942
税金等調整前四半期純利益	4,142	2,942
法人税、住民税及び事業税	389	516
法人税等調整額	1,146	1,139
法人税等合計	1,535	1,655
四半期純利益	2,607	1,287
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	106
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,614	1,181

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,607	1,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	880
繰延ヘッジ損益	△276	17
為替換算調整勘定	2,221	1,357
退職給付に係る調整額	△205	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	430	△8
その他の包括利益合計	2,201	2,190
四半期包括利益	4,808	3,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,284	2,975
非支配株主に係る四半期包括利益	524	502

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,788	27,903	32,241	24,309	123,241	—	123,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,370	6,443	3,501	73	26,387	△26,387	—
計	55,158	34,346	35,742	24,382	149,628	△26,387	123,241
セグメント利益又は損失 (△)	3,764	1,179	△1,275	769	4,437	△1,000	3,437

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,000百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属(株)の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,846	22,938	36,374	25,313	122,471	—	122,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,185	6,710	3,163	79	22,137	△22,137	—
計	50,031	29,648	39,537	25,392	144,608	△22,137	122,471
セグメント利益又は損失 (△)	3,118	△1,279	△371	1,522	2,990	△1,019	1,971

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,019百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属(株)の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。